

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【公表番号】特表2001-504586(P2001-504586A)

【公表日】平成13年4月3日(2001.4.3)

【出願番号】特願平10-523853

【国際特許分類第7版】

G 0 1 N 33/532

C 0 7 K 5/00

C 1 2 Q 1/68

G 0 1 N 33/53

【F I】

G 0 1 N 33/532 Z

C 0 7 K 5/00

C 1 2 Q 1/68 A

G 0 1 N 33/53 D

【手続補正書】

【提出日】平成16年11月5日(2004.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年11月 5日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第523853号



2. 補正をする者

名 称 ザ・トラスティーズ・オブ・ザ・ユニバーシティ・オブ・  
ペンシルバニア

3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区  
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



住 所 同 所

担当者氏名 (9601) 弁理士 富 田 博 行



4. 補正対象書類名

請求の範囲

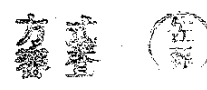
5. 補正対象項目名

請求の範囲



6. 補正の内容

別紙の通り



(別 紙)

請求の範囲を次のとおり補正する。

『1. 以下の工程：

(a) 選択された蛋白質を標的とする一次抗体を固相上に固定化し；

(b) 選択された蛋白質に固相を接触させて、選択された蛋白質を固定化一次抗体に結合させ；

(c) 選択された蛋白質を標的とする二次抗体に共有カップリングさせたRNAプロモーター推進cDNA配列に固相を接触させて、二次抗体を固相上の結合した選択された蛋白質に結合させ、そして

(d) 存在する選択された蛋白質の量の指標として、結合した二次抗体に共有カップリングしたプロモーター推進cDNA配列のレベルを増幅RNA技術により定量すること

からなる、免疫-aRNAにより選択された蛋白質のレベルを定量する方法。

2. T7プロモーター推進cDNA配列を二次抗体に共有カップリングさせる、請求項1記載の方法。

3. 選択された蛋白質がtauである、請求項1記載の方法。』

以 上